

千代田区歴史発掘プロジェクト ～千代田区 坂の紹介マップ～

まちづくり・地域政策研究会



● マップについて

普段、何気なく歩いている坂についても、その成り立ちや坂の名称には様々なエピソードがあります。本マップでは、このような千代田区に存在する坂について、その歴史や特徴、景色の良い地点、さらには歩行者の役立ち情報などを紹介しています。

このマップの作成にあたっては、私たち「まちづくり・地域政策研究会」が、実際にまちを歩き調査を行ったほか、一般社団法人千代田区観光協会の方に対するインタビューも行いました。

このマップを持ち、皆さんもぜひ千代田区の坂からみえる歴史散策を試みませんか！

● まちづくり・地域政策研究会について

私たちは、まちづくりの調査・研究を行う大学院を修了したメンバーによる研究会です。

現在では、千代田区を中心に、歴史・文化資源や地域コミュニティの在り方などについて調査・研究を行い、まちづくりに寄与する政策を考えています。

研究活動の一環として、研究の成果やまちづくりの事例を、冊子・ホームページなど通して発信しています。

● インタビュー

【調査にあたって】

千代田区では「坂」を文化財や観光スポットとして扱っていることから、今後まち歩きのルートを観光資源として活かすことや、まち歩きの課題などについて調査をするため、一般社団法人千代田区観光協会に対してインタビュー調査を行いました。

【調査の概要】

日時：2022年9月28日 14:30～15:30（観光案内所）
調査をさせていただいた方：山崎真理様、渡辺美樹様
（質問者：研究会 嶋村豊一、露崎直美）

【お伺いした項目】

- ①千代田区の文化財である「坂」の情報発信と活用について
- ②「坂」のまち歩きの企画や千代田区役所との連携について
- ③バリアフリーと区民の「まち歩き」情報について



※中央のお二人が協会職員の方々

【調査のまとめ】

- ・観光協会による様々な観光情報の発信は充実している。
- ・千代田区の「坂」に特化した歴史・観光をテーマにした冊子による情報提供は行われていない。（今後も予定はない）
- ・まち歩きの見点での観光や歴史・文化、区民生活の情報を網羅した紙媒体での情報提供は、情報の選択、随時更新などに課題がある。
- ・千代田区役所との連携はそれぞれの役割分担の範囲で対応している。様々な情報を共同で取り扱った資料は作成されていない。
- ・まち歩きのマップ類は、より携行に便利なコンパクトサイズで主要な歴史や文化、観光スポットの情報と歩く移動に必要な情報が網羅された資料を目指すことを提案する。

【インタビュー調査を踏まえて】

今回のマップについては、「坂」に特化したものとし、「観光客向けの視点」と「区民サポートの視点」の両方を担う事を目的とします。

そのうえで、まち歩きを行う際の利便性も考慮し、歴史や生活者の声、休憩施設といった便利情報も備えたマップにします。

地図



- ①紀尾井坂 p.6
- ②一口坂 p.8
- ③御厩谷坂 p.10
- ④九段坂 p.12
- ⑤淡路坂 p.14
- ⑥幽霊坂 p.16
- ⑦霞ヶ関坂 p.18
- ⑧山王坂 p.20



山王坂



淡路坂

(地図：国土交通省)

※地図内 → は、坂の勾配の方向
 坂上→坂下

① 紀尾井坂

歴史・由来	江戸幕府を支えた3つの藩の江戸屋敷が隣接しており、それぞれ一文字を取って町の名前となりました。 (紀伊徳川の「紀」・尾張徳川の「尾」・彦根井伊の「井」) そこから、現在の坂の名称にもなりました。
長さ	180m
傾斜	やや急坂



【坂を通る人の声】



(40代男性)

紀尾井坂を下った先には、清水谷公園があり、そこには大久保利通が暗殺された場所であることを示す記念碑もあります。

【研究会からの分析】

坂の標識・説明	ビュースポットの充実度	アクセスの良さ (分かりやすさ)	休憩スペースの 充実度
あり	△	△	○ ・坂下のベンチ ・清水谷公園

【ギャラリー】



写真①紀尾井坂(坂上)



写真②ホテルニューオータニ

【地図】



○研究会から

紀尾井坂周辺には緑が多く、坂下付近にも清水谷公園があり、道行く人の憩いの空間となっています。

② 一口坂

歴史・由来	一口坂と書いて、「いもあらいざか」と読みます。「いも」とは、疱疹、天然痘などの皮膚病を意味し、「あらい(洗い)」とは、病気を治すという意味です。 そのため、一口坂は遠い昔に皮膚病を治すために、祈りをささげる場所かであったと考えられています。
長さ	240m
傾斜	緩やか



【坂を通る人の声】



(30代男性)

一口坂の周辺には、インド・ネパール料理店、タイ料理店などがあり、様々な国の食事を楽しむこともできます。

【研究会からの分析】

坂の標識・説明	ビュースポットの充実度	アクセスの良さ(分かりやすさ)	休憩スペースの充実度
あり	○ ・旧江戸城の外濠 ・桜	△ ・市ヶ谷駅より 15分程度	△ ・外濠のベンチ

【ギャラリー】



写真①一口坂(坂下)



写真②外濠

【地図】



○研究会から

一口坂の坂下付近にある旧江戸城の外濠は、春は桜が美しく、秋は紅葉の姿も楽しむことができるため、移り行く四季を感じることができます。

③ 御厩谷坂

歴史・由来	「おんまやだにざか」と読み、この地に、徳川将軍家の厩舎があったことかによって由来するとされています。
長さ	100m
傾斜	緩やか



【坂を通る人の声】



千鳥ヶ淵から、皇居の美しい景観が楽しめます。

(60代男性)

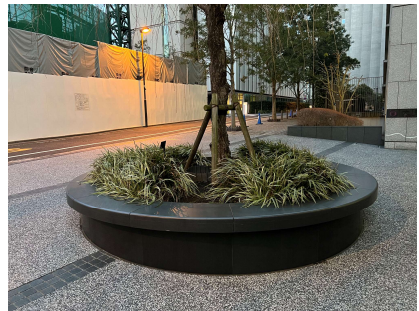
【研究会からの分析】

坂の標識・説明	ビュースポットの充実度	アクセスの良さ(分かりやすさ)	休憩スペースの充実度
あり	○ ・皇居	△ ・九段下駅から15分程度	△ ・大妻女子大学付近のベンチ

【ギャラリー】



写真①御厩坂(坂下)



写真②大妻女子大学付近のベンチ

【地図】



○研究会から

御厩谷坂の付近には、千鳥ヶ淵公園があります。また、坂付近の大妻女子大学では、様々な講座・イベントが開催されているので、あらたな発見ができる可能性もあります。

④ 九段坂

歴史・由来	江戸城に勤務する役人の御用屋敷の石垣が九段であったからとも、九つの石段上の坂であったともいわれています。 九段坂には、明治4(1871)年に常夜灯として設置された、「高燈籠」が今でも残っています。
長さ	430m
傾斜	緩やか



【坂を通る人の声】



(50代女性)

昭和館の裏側にまわったところにも、皇居など景色のよい場所がたくさんあります。

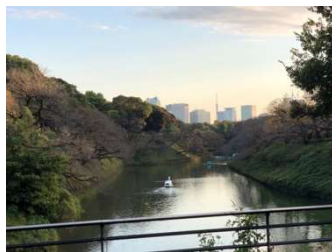
【研究会からの分析】

坂の標識・説明	ビュースポットの充実度	アクセスの良さ(分かりやすさ)	休憩スペースの充実度
なし	◎ ・旧江戸城の城跡 ・靖国神社の桜	◎ ・九段下駅よりすぐ	○ ・沿道のベンチ

【ギャラリー】



写真①高燈籠



写真②皇居

【地図】



○研究会から

九段坂からは、皇居のほか、桜の名所として有名な靖国神社があり、都会にいながら豊かな自然を楽しめます。また、坂周辺には、ベンチがあり、歩く人にとって助かる設備も多くあります。

⑤ 淡路坂

【データ】

歴史・由来	江戸時代、坂上西側に鈴木淡路守の屋敷があったことから、この名が呼び慣わされたとされています。
長さ	290m
傾斜	やや急坂



【坂を通る人の声】



(20代女性)

多くの電車が行き交う様子は、まさに都会という感じです。中央線の高架下にあるお店からは、神田川に面しており、落ち着くことができます。

【研究会からの分析】

坂の標識・説明	ビュースポットの充実度	アクセスの良さ (分かりやすさ)	休憩スペースの充実度
あり	◎ ・レンガづくりの高架橋 ・神田川	◎ ・JR 御茶ノ水駅よりすぐ	◎ ・御茶ノ水テラスの休憩スペース

【ギャラリー】

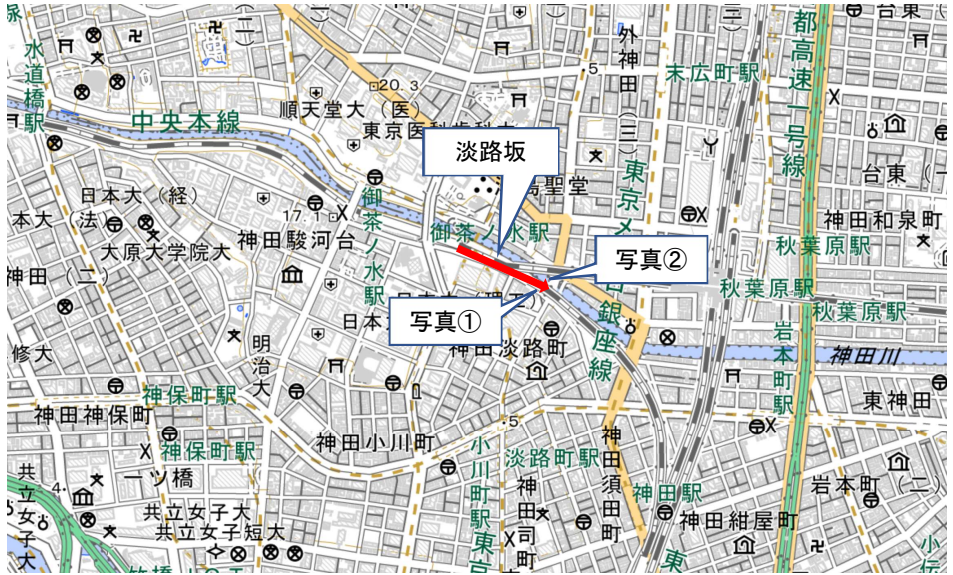


写真①淡路坂(坂下)



写真②神田川

【地図】



○研究会から

淡路坂沿いにある中央線の高架橋は、明治 45(1912)年に完成したものであり、歴史ある赤レンガ造りを見ることができます。

また、淡路坂の坂下付近から、万世橋方面へ行くと、神田川の景観を楽しむことができます。

⑥ 幽霊坂

【データ】

歴史・由来	由来ははっきりしていませんが、坂の両側は大木が繁って、人通りも少なく、さみしい道であったので、俗に幽霊坂と呼ばれています。
長さ	190m
傾斜	やや急坂



【坂を通る人の声】



(20代女性)

幽霊坂の付近には、1917年に建造され、かつて書庫として使われていた蔵を移築・改装し、今は「Gallery 蔵」として利用している場所があります。今は様々なアーティストが、個展や展示会を行う場所として活用しています！

【研究会からの分析】

坂の標識・説明	ビュースポットの充実度	アクセスの良さ (分かりやすさ)	休憩スペースの充実度
あり	○ ・Gallery 蔵	○ ・御茶ノ水駅 より2分程度	◎ ・お茶の水テラス

【ギャラリー】



写真①Gallery 蔵



写真②御茶ノ水ソラシティ

【地図】



○研究会から

レストラン・ショップなどが入居する複合施設「御茶ノ水ソラシティ」のすぐ横に、Gallery 蔵が存在し、新旧の建築物を楽しむことができます。

なお、「御茶ノ水ソラシティ」には、「お茶ナビゲート」という、千代田区の観光・歴史的スポットを案内する施設もあります。

⑦ 霞が関坂

【データ】

歴史・由来	中世のころ、このあたりに関所がおかれていたといわれ、「霞が関」の名になったと言われています。 江戸時代は諸大名の屋敷が建ちならび、錦絵にも画されました。
長さ	210m
傾斜	緩やか



【坂を通る人の声】



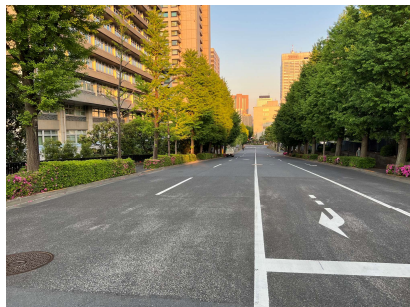
皇居や国会議事堂、少し歩けば日比谷公園など、見どころがたくさんあります。

(50代男性)

【研究会からの分析】

坂の標識・説明	ビュースポットの充実度	アクセスの良さ (分かりやすさ)	休憩スペースの充実度
あり	○ ・国会議事堂 ・霞が関官庁街	◎ ・霞が関駅よりすぐ	△ ・霞が関ビル ・コモンゲートの広場ベンチ

【ギャラリー】



写真①霞が関坂(坂上)



写真②霞が関坂周辺の公官庁街

【地図】



○研究会から

坂を登れば、国会議事堂が見えます。また、坂の周辺には、外務省や農林水産省など、官庁街が存在しており、日本の政治的な中心地を実感することができます。

⑧ 山王坂

【データ】

歴史・由来	明治維新まではほとんどが山王社（日枝神社）の社地であり、社前に下る坂なのでこの名がつけられたといわれています。
長さ	170m
傾斜	やや急坂



【坂を通る人の声】



(40代男性)

近くには、徳川家ゆかりの日枝神社もあります。

【研究会からの分析】

坂の標識・説明	ビュースポットの充 実度	アクセスの良さ (分かりやすさ)	休憩スペースの充 実度
あり	○ ・国会議事堂	○ ・国会議事堂前駅よりすぐ	✕ ・特になし

【ギャラリー】



写真①国会議事堂



写真②山王坂(坂下)

【地図】



○研究会から

国会議事堂まで一直線に伸びる山王坂は、上った先に国会議事堂を見ることができます。

また、坂下付近には、日枝神社があり、ビルに囲まれたエリアの憩いの場所となっています。

● 編集後記

井澤 和貴

普段、坂は通り過ぎるだけのものかと思いますが、坂の名称にはまちの歴史や特徴などをいまに伝える「メッセージ」であるとも思います。

また、坂下と坂上では表情が異なります。例えば、山王坂を上った時に見える国会議事堂は建物の形状が美しく、淡路坂では、明治時代から続く中央線の歴史ある高架(レンガ)を見ることがもできます。

四季を通じて、坂はいろいろな変化があるため、今後も街並み・歴史の楽しみ方などを研究したいと思います。

嶋村 豊一

「坂」の名称は地域の歴史や景観、生活の由来から長く継承されています。「坂」から人生の栄枯盛衰を感じることもあるでしょう。皆さん自身で千代田の坂の魅力を発見してみたいはいかがでしょうか。

露崎 直美

千代田区の坂は何となく歩いているだけでも坂の名前や周囲の建物から歴史的な雰囲気を感じることができるので、坂がまち歩きのアクセントになる場所だと思いました。

坂の由来や、近隣に住んでいた有名な歴史上の人物などの看板が設置されていますので、それを掘り下げて、大名屋敷や江戸時代の地図と重ねて合わせたり、そこにどのような暮らしがあったのか、いろいろな角度から探求できそうです。千代田区の坂は本当に興味がつきない坂です。

千代田観光協会の方をはじめ、ご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。

高 歓

千代田区の坂について、文献調査を通して、千代田区の坂に魅力的な歴史があることがよく分かりました。また、現地調査で実際に坂を上ってみたら、思ったより体力的にきついか、坂を上った途中で様々な店や風景もあるとかが気づきました。今回は千代田区の坂の魅力が探索できてよかったと思います。今後も千代田区のほかの様々な魅力を探索していきたいと思います。



※ 掲載された情報されている情報は、2023年1月現在のものです。

調 査： 井澤和貴、高 歓、 嶋村豊一、 前口愛子、 露崎直美

発行：まちづくり・地域政策研究会

メールアドレス：machi.chiiki@gmail.com

研究会ホームページ：<http://machi2021.wp.xdomain.jp/>

QRコードからのアクセスはこちら

